

全国運動速報

【発行】 国鉄闘争全国運動事務局

2012年2月23日発行

千葉市中央区要町2-8 DC会館内

nationwidemovement@yahoo.co.jp

予科生等運転士反動判決弾劾 登用差別事件

この悔しさと怒りを外注化阻止へ



動労千葉の予科生等運転士登用差別事件で2月23日、最高裁第一小法廷の櫻井龍子裁判長は、動労千葉側の勝利判決である高裁判決を破棄する実に許し難い反動判決を出した。
なぜ動労千葉の組合員だけ運転士に発令されないのか。まったく同じ内容の裁判で、しかも同じ櫻井裁判長によって動労水戸は勝訴しているのだ。
わずか5秒。櫻井裁判長は主文を読み上げ、逃げるように退廷。最高裁前は、濃密な怒りの

感情で満ちた。「これが20数年の不当労働行為に対する判決なのか」――血が逆流する思いだ。
動労千葉弁護団の広瀬弁護士は「20数年の当該の思いが踏みにじられ悔しい。JRの言い分を丸飲みし、形式論に終始している。動労水戸の判決について一言も触れていない。最初から結論を決めている」と弾劾した。
田中委員長は、烈火のごとく怒りを爆発させた。「ふざけるな！ 最高裁。30年間虐げられた労働者の思いが分からないのか！ 無人駅の掃除やホームでの牛乳販売など、どれだけひどい扱いを受けてきたのか。その中で動労千葉は団結して闘ってきた。この思いはいつらには分からないんだ」
「分割・民営化もすべて同じ仕組みだ。高裁の勝利判決をひっくり返すのにわずか数ページの判決文。

俺は許せない。動労千葉と動労水戸とどう違うのか。一言も触れていない。ウソで踏みにじるのか」
「決意を新たにしなければならぬ。すべては国鉄分割・民営化にある。間違っていることに決着をつけなければならぬ。どれだけの労働者が苦しんできたのか。こんな間違った国はぶっ倒さなければならない」
当該の予科生は10人のうち7人が結集。「本当に悔しい」「残念だが職場からがんばる」「悔しくてしょうがない。外注化阻止でぶっ倒すまで闘う」と口々に怒りと悔しさを語った。
当該の最後に幕張支部の関さんが「この10人の仲間はみな検修部門の支部に所属している。この怒りを外注化粉碎へ力を合わせる」と、この悔しさを全体のものにして、外注化阻止へ決

行 動 方 針

中野前委員長追悼 外注化阻止・12春闘勝利

3・4 動労千葉総決起集会

(日時) 3月4日(日) 13時30分
(場所) 千葉市民会館 (JR千葉駅から徒歩7分)
(呼びかけ) 国鉄千葉動力車労働組合
――
銚子運転区・成田車掌区廃止反対！
ローカル線切り捨て反対！

総武本線・成田線沿線・銚子地域集会

3月10日(土) 午後1時から/JR銚子駅前

最高裁の反動判決に対する回答は職場からの壮大な反撃の開始だ。実力で運転士に登用させ、櫻井裁判長を必ず後悔させる。4・1外注化阻止へ全国から支援と連帯を結集させよう。